

リュツォ・ホルム湾の定着氷の状況について

2017年6月

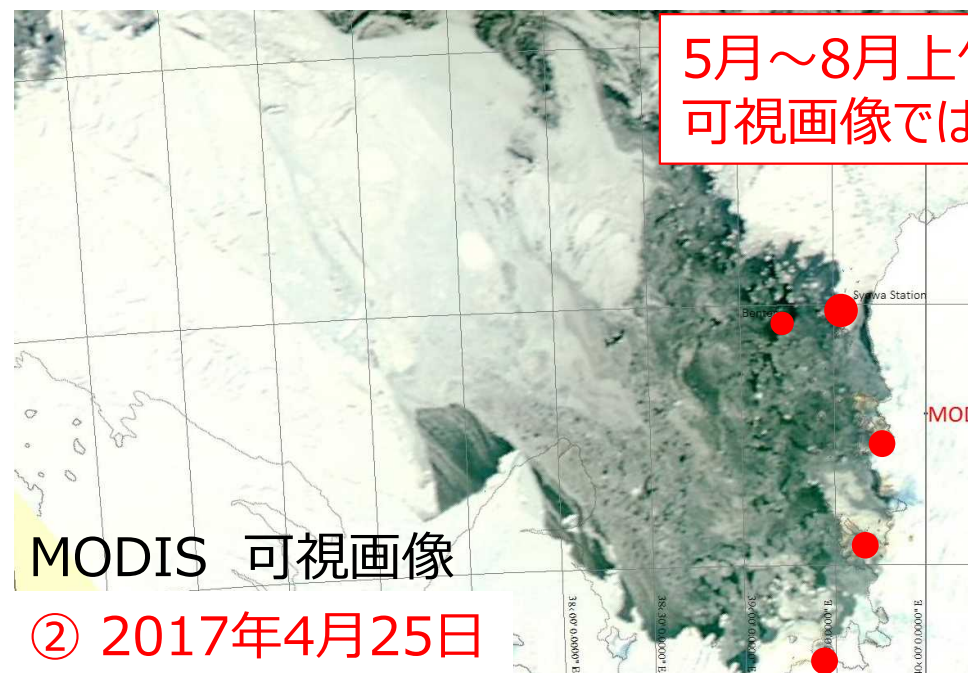
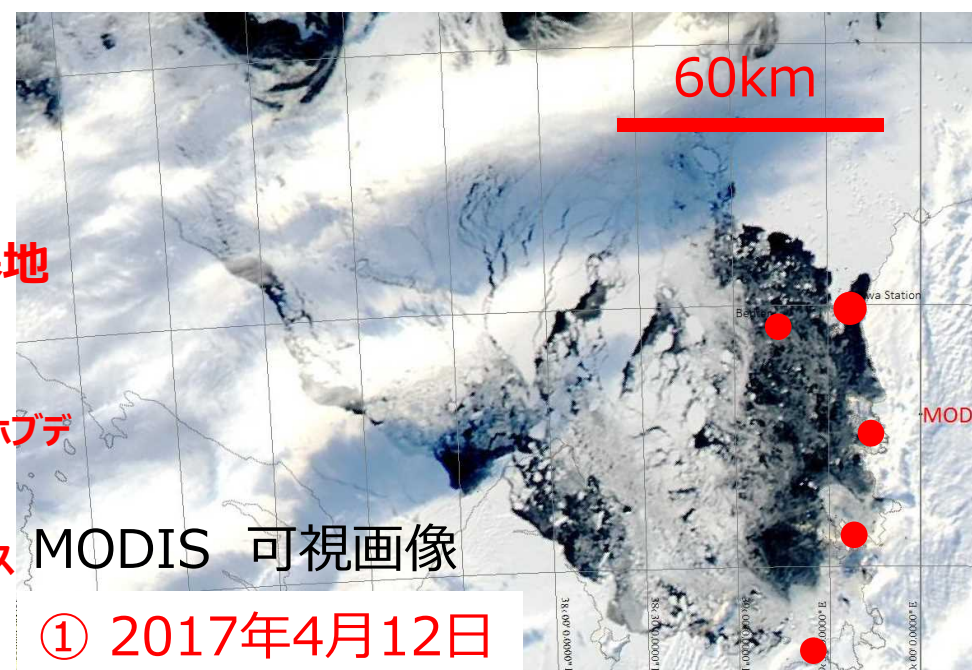
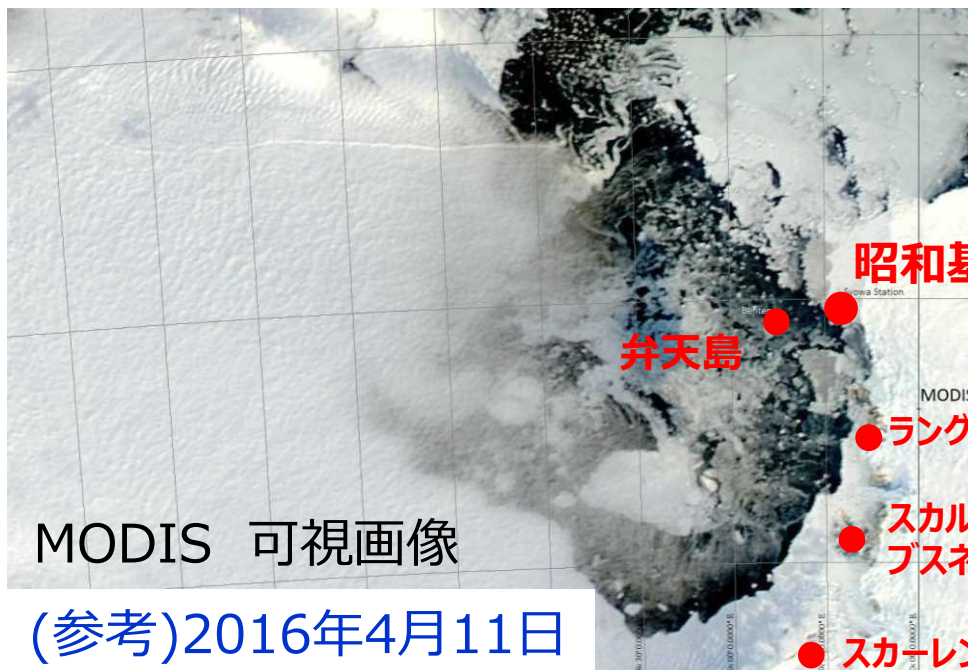
国立極地研究所・南極観測センター

第58次越冬隊および国立極地研究所は、越冬期間中の野外活動計画や来夏の輸送関連計画の参考情報とするため、衛星画像データ、昭和基地における目視・空撮画像、そして気象データなどを用いた海氷状況の監視を行っている。

2017年3月以降の状況

- 2016年の同時期と同様に、湾内の定着氷は**広い範囲で割れて流出した**。
- この規模の流出は、2003年8月、2004年6月、2006年5月、**2016年4月**に生じている。
- 2017年5月、**オングル諸島周辺は、北側の一部を除いて開放水面が広がった**。
- 天候が安定している期間には開放水面の結氷は進むが、荒天時には再流出し、これを繰り返している。

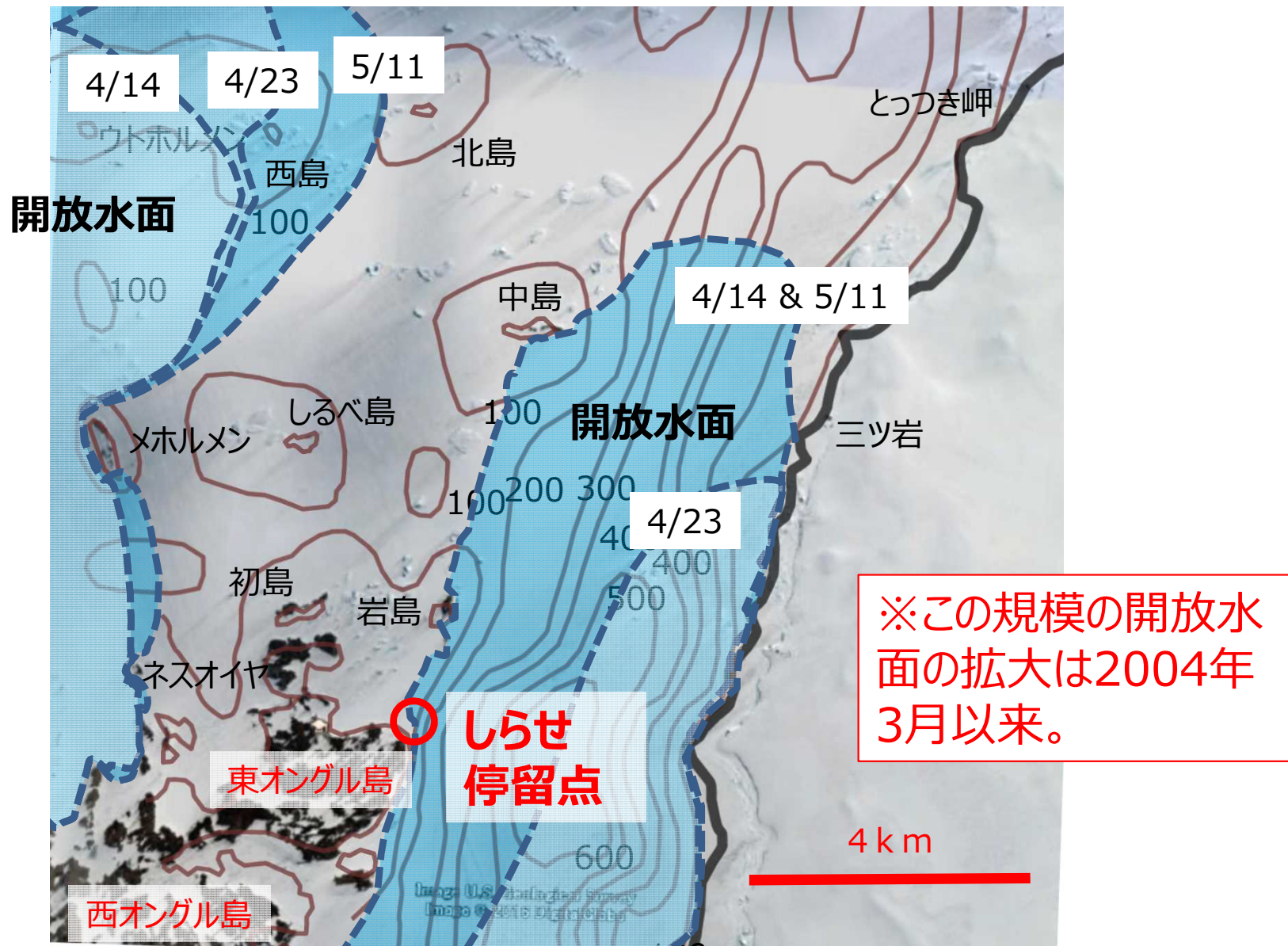
リュツォ・ホルム湾広域衛星画像



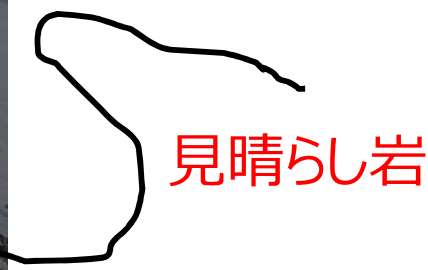
5月～8月上旬は極夜のため
可視画像では確認できない。



オングル海峡の開放水面の拡大



昭和基地上空 空撮画像： とっつき岬(北東)方向



昭和基地上空空撮画像：北方向

